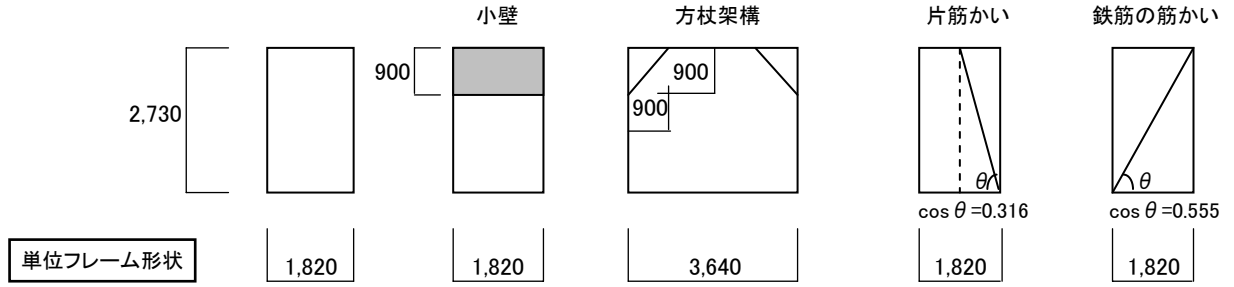


各種耐震要素の基本耐力



種別	耐震要素	基本耐力(kN)						架構寸法による補正		部材寸法等による補正	備考
		1/120	1/60	1/40	1/30	1/20	1/15	スパン	階高		
単位フレームの構成要素(単位フレーム耐力に換算)	長ぼぞ	1.00	1.50	1.50	1.50	1.50	1.50	—	反比例	—	ぼぞ(仕口)4ヶ所分
	貫(150x250)参考値	5.00	10.00	12.50	15.00	20.00	25.00	—	反比例	めり込み面積比例(柱との接合箇所数に比例)	通し貫1段(仕口2ヶ所分)
	貫(24x120)	0.38	0.75	0.88	1.00	1.00	1.00	—			鴨居1段(差込2ヶ所分)
	差鴨居(120x270)	0.50	1.00	1.25	1.50	1.50	1.50	—			
制震ダンパーを組み込んだ単位フレーム	仕口ダンパー(15cm)	0.45	0.75	0.95	1.15	1.15	1.15	—	反比例	ダンパーの個数に比例	ダンパー4個分(f=1Hz)とし、h=40%
	仕口ダンパー(20cm)	0.55	0.90	1.20	1.50	1.50	1.50				
	仕口ダンパー(30cm)	1.15	2.10	2.85	3.60	0	0				
壁面を有する単位フレーム	土壁(55~60)	9.00	9.00	9.00	9.00	9.00	9.00	比例	—	壁厚に比例	壁面内の下地材を耐力に含んでいる
	荒壁パネ(両面)	6.00	12.00	12.00	12.00	12.00	12.00			片面貼は1/2	
	構造用合板(7.5)	12.00	12.00	12.00	12.00	0	0			—	
	落とし込み板壁(27)	3.75	7.50	11.25	15.00	15.00	15.00			—	
	木ずり壁(24)	2.00	2.67	3.33	4.00	4.00	4.00			—	
	下見板張り(10)	1.00	2.00	3.00	4.00	4.00	4.00			—	
	モルタル塗り壁(20)	3.00	3.00	3.00	3.00	3.00	0			—	
	石膏ボード(12.5)	4.00	4.00	4.00	4.00	0	0			—	
木毛セメント板(15)	4.00	4.00	4.00	4.00	0	0	—				
小壁を有する単位フレーム	方杖(120x120)	1.50	2.33	3.17	4.00	4.00	4.00	—	反比例	—	方杖・小壁の高さ比率は標準:1/3とする。また1/30以上の変形では柱折損に対する検討が別途必要
	小壁(土壁)	2.00	4.00	4.00	4.00	4.00	4.00	※1		—	
	小壁(荒壁パネ)	2.00	4.00	4.00	4.00	4.00	4.00	—	—	—	
	小壁(構造用合板)	2.00	4.00	4.00	4.00	4.00	0	0	—	—	
筋かいを含む単位フレーム	片筋かい(2割り)	3.00	3.00	3.00	3.00	0	0	cosθに比例		—	告示にある金物で筋かいが取り付けられていること
	片筋かい(3割り)	2.00	2.00	2.00	2.00	0	0			—	
	鉄筋の筋かい(9φ)	9.00	9.00	0	0	0	0			—	
木質ラーメンを含む単位フレーム	リブフレーム(標準)	2.50	5.00	7.50	7.50	7.50	7.50	—	反比例	—	リブフレーム(標準): 2-36x180、(小型)2-36x150、格子壁(標準): 45x90@300
	リブフレーム(小型)	1.80	3.60	5.40	5.40	5.40	5.40	—	反比例	—	
	格子壁	0.63	1.25	1.88	2.50	3.75	5.00	比例	—	—	

※1: 小壁(土壁)の架構寸法による補正

スパン	0.00	~	半間	~	一間	~	二間以上
基本耐力(kN)	0.000	線形補間	3.000	線形補間	4.000	線形補間	6.000
壁比率	0.00	~	1/3	~	1.00		
基本耐力(kN)	0.000	線形補間	4.000	線形補間	9.000		

複数スパン連続する小壁は、柱の検討により折損しないことが確認できたときはスパン数比例とし、それ以外は柱本数比例とする。